

アンデス・アマゾン学会
会誌『アンデス・アマゾン研究』査読規定

2017年12月1日制定

2019年7月6日改訂

2019年7月6日施行

1. 本規定について

本規定制定の目的は、査読判定結果の取り扱いの公正性を示し、同時に査読者・投稿者双方に査読の基本方針を共有してもらい、査読を有意義なものとするにおかれている。

2. 査読の目的

査読は、投稿論文・研究ノートの学問的水準が、アンデス・アマゾン学会の会誌『アンデス・アマゾン研究』に掲載されるにふさわしいものかどうか判断するために行われる。

3. 査読者の数・選定・匿名性

論文・研究ノートのカテゴリーを問わず、1本の論文・論考につき、2名の査読者によって査読がなされる。査読者の選定は、投稿論文・論考の内容を考慮し、編集委員が行う。原則として、査読者の氏名・所属は公表しない。

5. 査読の期間と結果の通知

査読期間は、投稿規定で定められている通り、1カ月～2カ月程度とする。査読結果は、査読者から提出された後、編集委員が投稿者に迅速に通知する。その際、査読者によって記入された「査読結果（投稿者への通知用）」は、原則としてそのまま投稿者に送付される。

6. 査読の評価

査読の評価は、「査読結果報告書」の「II 審査事項」を基に、以下のいずれか1つで示される。

- A 原稿のまま掲載可（軽微な修正を伴うものも含む）
- B 修正のうえ掲載可
- C 修正のうえ再査読が必要
- D 掲載不可

7. 査読評価の扱い

2名の査読者の評価が合致した場合、その評価通りの扱いとする。査読結果が割れた場合は、以下の表の通りの扱いとする。

| ケース | 評価1 | 評価2 | 扱い | 備考 |
|-----|-----|-----|------------|------------------------|
| 1 | D | C | 掲載不可または再査読 | 修正に要する時間等を考慮し、編集委員が判断。 |
| 2 | D | B | 再査読 | |
| 3 | D | A | 再査読 | |
| 4 | C | B | 再査読 | |
| 5 | C | A | 再査読 | |
| 6 | B | A | 修正のうえ掲載可 | |

8. 再査読の方法

2名の査読者が共にCと評価した場合は、その2名の査読者によって再査読がなされる。査読結果が割れた際には、ケース4と5の場合、初回の査読でCと評価した査読者によって再査読がなされる。ケース2～3の場合は、新たに1名の査読者を選定して再査読を行う。ケース1で再査読がなされる場合に

は、C と評価した査読者と新たに選定する査読者によって再査読がなされる。

9. 査読者の留意点

査読者は、査読の目的を再確認し、公平・公正・客観性を強く意識し、投稿者と対等の研究者であることを前提に、投稿論文・研究ノートの学問的水準が維持されるよう、具体的かつ建設的なコメントをするよう心がける。評価を C あるいは D と判定する場合、査読者は投稿論文・論考の問題点に関し、投稿原稿のどの部分・記述が、どのような意味で問題なのか、あるいはどのように修正されるべきと考えるのか、具体的に示さなければならない。査読者は、査読によって知り得た情報を他者に漏洩させてはならない。

10. 投稿者の留意点

評価が C と判定された場合、投稿者は、修正原稿提出時に、査読者によって提示された疑問点・指摘・コメント・示唆等すべてに対して、リプライしなければならない。

11. その他（掲載の見送り）

C の評価（再査読）が 2 度繰り返された場合は、掲載を見送る。C の評価を受けた論文・研究ノートの投稿者が、査読者の指摘やコメント等にリプライせずに、それを無視・軽視することが繰り返されている場合、掲載を見送る。執筆細則に基づく編集委員の指示に従わない場合、掲載を見送る。

以上